

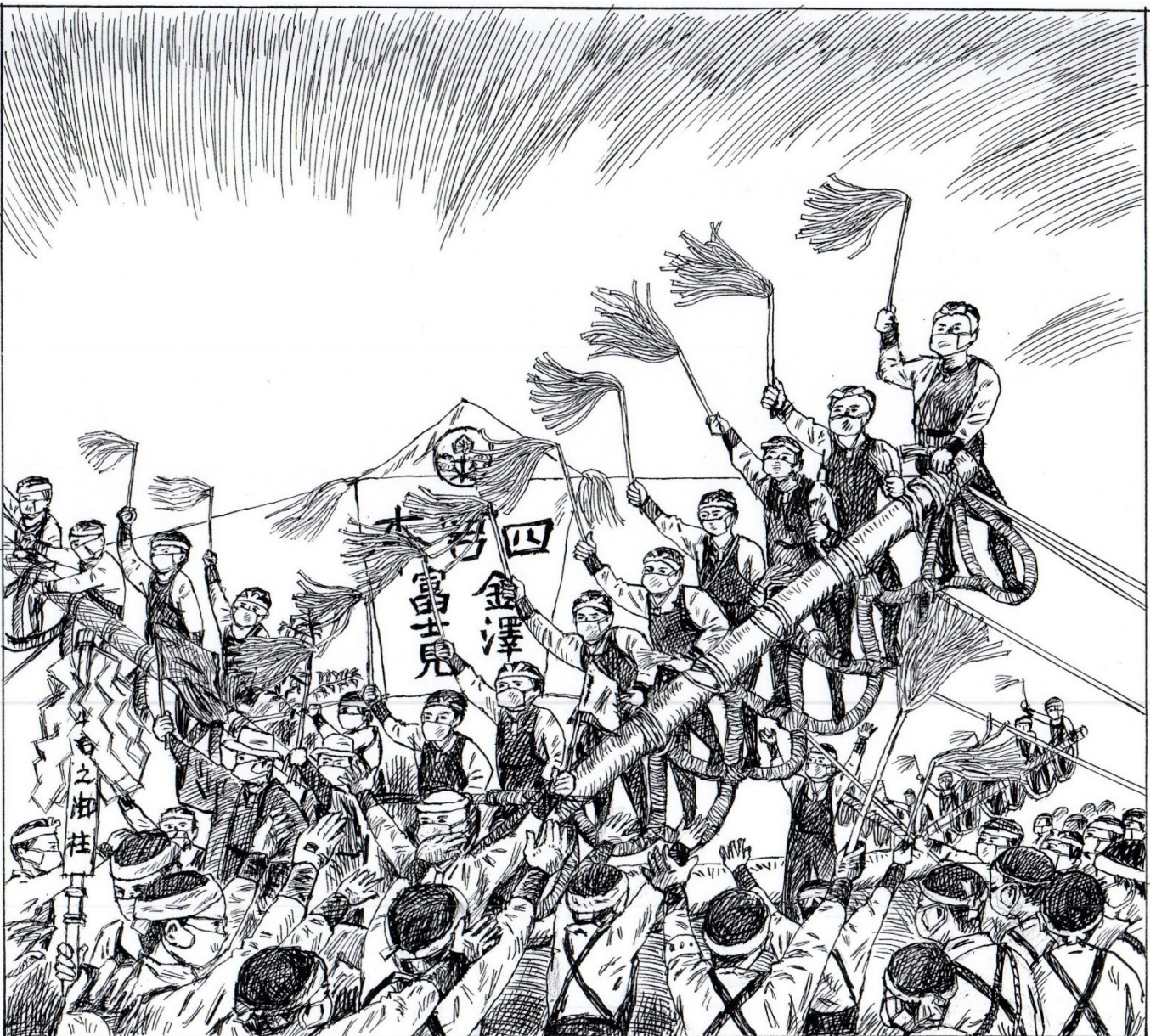


諏訪ユネスコ通信

発行日
令和4年7月31日
発行者
諏訪ユネスコ協会
編集委員会

諏訪ユネスコ協会

第34号



かみしゃ おんばしら さとび
上社の御柱 里曳き

挿絵：谷澤信憲

令和四壬寅年諏訪大社式年造営御柱大祭

御柱祭は7年目ごと、寅と申の年に行われます。宝殿の造り替え、社殿の四隅に「御柱」と呼ばれる樹齢200年程の樅の巨木を曳き建てる諏訪大社の最大の神事です。

コロナ禍の影響により4月の「山出し祭」は、トレーラー運搬になってしまい、坂を下る「木落し」、川を曳き渡る「川越し」が出来ませんでした。5月の「里曳き祭」は、参加者を規制して無事行われました。

2022年度 定時総会開催

2022年度定時総会が5月23日(月)15時より、茅野市「ゆいわーく茅野」に於いて開催された。

本年度もコロナ禍が収まらず「書面議決」を余儀なくされ、顧問・理事のみ出席での総会となった。

開会に先立ち、諏訪ユネスコ協会顧問の林新一郎氏に挨拶を頂いた。

会員数55名中、出席者17名、書面議決による賛成21名、合わせて38名の参加により諏訪ユネスコ協会会則13条による「委任状を含め定数の3分の1以上の出席を得て成立する」に則り本総会が成立した。

議 事

第1号議案 2021年度 事業報告・決算報告・監査報告

第2号議案 規約改正に関する件

第3号議案 2022年度 事業計画・収支予算

上記議案は全て承認され、2022年度の定時総会は閉会となった。



定時総会終了後講演会が行われた。

講師：株式会社みやま 代表取締役社長 百瀬真希氏
SDGs推進専門係長 五味佑太郎氏

演題：「愛される人になり、愛される製品を作り、愛される企業となる」

会社紹介

本年度諏訪ユネスコ協会に団体会員として登録。今年創立75周年。2019年に長野県SDGs推進企業第一期諏訪地区第1号認定企業。環境問題に積極的に取り組み社員の意識も高い。

○五味祐太郎氏講演

SDGsに取り組みはじめ3年ほどになる。環境改善も手探りの状態から今では社員一人一人が高い意識をもって取り組むようになってきている。弊社はプラスチックの成形を行っているが金属の代わりにも使われ、住宅・医療等にも幅広く応用されている。

具体的アクションとしては、まず

「SDGsに取り組みます」と宣言。当時はSDGsという言葉も良く理解できなかったが、研修等重ね、社員もその意義を理解、SDGsの17の目標に対して具体的に取り組めるようになってきた。身近なところから実践（電気を消す、リサイクル、ごみ拾い、コピー用紙の無駄を省く等）。目に入る各場所にSDGsのシールを貼る工夫。一人一人に個人目標を設定してもらい一覧表にし、一年間を振りかえり自己評価をしてもらう。企業としての取り組みは環境活動、経営全体の見直し（品質改善、CO₂の削減、プラスチックの分別・リサイクル、2030年に向けて自動車の軽量化）などがあげられる。

また人材育成に積極的に取り組み、資格取得を奨励し取得者の一覧表を掲示。働きがいのある職場作りに心がけた。社員が自主的に取り組むようアイデアを出し合い楽しくやることを大切にした。

会社の畑で野菜を栽培し小中学生との交流も行った。これらの事業をホームページに掲載しSDGsの取り組みについての情報を発信している。

○百瀬真希氏の講演

私がこの会社に入ったのは、父が経営していた「みやまプラスチック製作所」が経営不振に陥り倒産寸前の時でした。当時いた社員125名が25名になっていました。「社長のバカ娘に何ができるんだ」と陰口をたたかれ悩みました。

当時近くにあった牛乳屋さんが賞味期限切れの牛乳を10円で売ってくれたおかげで社員は家族の健康を保つことができていた。「この社員をそしてその家族を幸せにするには何をしたらいいだろうか」と問い直しました。「どうせみ





「やまなんて、うちの会社なんて」と言っている社員が「みやまにいて良かった。」
「みやまはいい会社だ」と言ってくれるようになるか考えました。

当時会社の中はすごく汚く、倒産寸前でお金をかける余裕はなかったので、まずは「皆で会社の中をきれいにしてみない？」と提案。最初はすごく抵抗はありましたが、続けていくうちに皆の気持ちに変化が起き始め「やって気持ちがいい」

「やることに意味がある」と思うようになってきました。

たまたま茅野市が「エコアクション」を実行する企業に補助金を出し、そのための教育をする」という新聞記事が出て、私はこれに応募しようと思断。この認定を受けると「肩書」がとれるので皆に「みやまは働きがいのある会社だ」と思ってもらえる、そう思い「紙の分別などエコアクションやってもらえる？」ともちかけたところ「社長、うちはもうとっくにやっていますよ」の返事。審査会の日、審査委員が最初に言ったのは「社長、利益実感はありますか？事務局が資料をまとめただけでは審査は通りませんよ。」そこで先ほど五味から報告があったような経緯で今まで取り組んできたわけです。

改善していくにはどうしたらいいだろうか。まずデータをとることから始めたら目に見えて利益率がアップ。それを図にして発表し意識を共有。そうこうしていくうちに何人かが「孫の代まで残していくには環境活動をしっかりやらなくちゃだめだよ」と言うようになってきました。SDGsをやることは打ち上げ花火をあげるのではなく、今までやってきていることをSDGsに結び付け、身近なところから一人一人が意識をもってやること、ということで現在まで取り組んでいます。

昨年経済産業省から【働く中小企業300社】に選ばれ、感謝状をいただきました。大きなことをやってきたわけではなく、長い間コツコツと改善に取り組んできたことを『経済社会の発展に寄与してくれたことへの感謝』と評価していただいたのだと思います。やってきて良かった、またこれからやりたいと思うことは、若いメンバーがSDGsをやることによって新たに挑戦する機会が増えるということです。

「どうせみやまなんて」と言われ続けたあの時、あきらめないで良かった。あの人たちがいたおかげで潰れないで今があるとするならば、私たちは社会の一員として「愛される人になって、愛される製品を作り、愛される企業となって世の中の役にたっていきたい」そんな思いでSDGsの活動をやらせていただいております。

技術革新の最初の第一歩は、「私たち一人ひとりが、何が大切で何をやるのか」と思うことがスタート。「みやまで良かった。みやまがあって良かった」と思ってもらえる企業になれるよう頑張っていきたいと思ひます。

ユネスコスクール推進部会 国際理解部門
異文化交流のひと時

7月19日(火)13時30分から15時30分まで「ゆいわーく茅野」に於いて、ヨギさん(マレーシア出身)を迎え、交流会を開いた。

ヨギさんは日本在住12年。小学4年の女兒の母親。元看護師として働いていた。

いろいろな話題について質疑応答があり、時間が足りないほどであった。特に強調されたのは「日本人は親切である」ということであった。

また、マレーシアと日本の学校生活の違い、宗教、健康保険、国旗、食事等々についても紹介された。

最後にはマレーシアのポピュラーソングを全員で歌い会を締めくくった。



SDGs食に関する学習会報告

日 時：2022年7月13日(水) 9時40分～10時20分 永明小4年3部

講 師：田村義明氏(諏訪ユネスコ協会副会長)

内 容：食の「もったいない」を考える

～「最後の一粒、最初の一粒」食品ロスと飢餓貧困～



永明小学校(ユネスコスクール)に於いて、4年3部の生徒に授業の一環で、SDGsの学習会を行った。

特にSDGs17の目標の12番『つくる責任 つかう責任』について、学校給食に関連付けて学習した。

諏訪湖アダプトプログラム・諏訪湖畔清掃の実施

第1回アダプトプログラム諏訪湖畔清掃、6月9日(木)午前9時より行った。

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態措置も解除され、観光客の散策もみられる諏訪市湖畔石彫公園一帯を会員15名が参加した。

梅雨入りが宣言されたが、さわやかな朝となりゴミ拾いをを行った。本格的な梅雨前で諏訪湖の水位も少なめに調整されており、岸辺のゴミも少なく可燃物約30kgを回収した。



第2回アダプトプログラム諏訪湖畔清掃、7月6日(水)午前9時より行った。

台風4号の接近による前日の雨模様で実施が心配されたが、朝から薄曇りの蒸し暑い中、会員12名が参加した。

降雨による河川からの流入を予想したが、水位は上がっていなかった。岸辺にはポリ袋の破片、空き缶、ペットボトル等のゴミは少なく、湖畔にはアレチウリも見受けられ駆除した。可燃物40kg、空き缶、ペットボトル数本を回収した。



第1回理事会(134回) 2022年4月19日(火) 18時30分

報告

- ・3月25日(金) ユネスコ連盟にウクライナ緊急支援金30,000円を送金
- ・4月5日(火) 15時 会計監査
- ・5月8日(日) 10時30分 ユネスコ県連総会 「ゆいわーく茅野」

議事

1. 各部からの報告・連絡

本部会

(1) 新入会員の紹介と承認

小池千尋氏 富士見町 承認

(2) 定時総会について

日時：5月23日(月) 15時

場所：「ゆいわーく茅野」集会室

内容：議事…1号議案・2号議案・3号議案

講演会

講師…株式会社みやま 代表取締役社長 百瀬真希氏

演題…「愛される人になり、愛される製品を作り、
愛される企業となる」

*本年度の定時総会は書面議決とすることに決めた。

*理事のみの総会ではあるが講演会は実施する。

・定時総会議案書の検討

*林新一郎氏に顧問挨拶を依頼。

*議事録署名人…濱善夫・玉舎興三郎両会員に依頼。

・規約改正について

*本年度は第2条(会員及び会費)について改正。修正箇所の確認、
検討を行った。

・予算案について…修正箇所の確認、検討を行った

(3) 2022年度各部担当者について…総会資料に同封し承認を得る

(4) 年会費について

振り込み用紙を総会資料に同封し依頼する

地域遺産部会

- ・本年度は部会を開催し、内容を検討する

寺子屋部会

- ・寺子屋部会反省(別紙参照)

*3月25日(金) 第2回寺子屋部会開催…反省会。

*アンケート、反省会の内容に基づき本年度の計画を立てる。

ユネスコスクール推進部会

- ・国際理解部門における計画について

*マレーシア人の方に依頼を計画している…詳細は検討中

- ・SDGsの勉強会について

*永明小学校(ユネスコスクール)における「つむぎ合い講座」に

於いて「SDGsを理解していこう」をテーマに児童・家庭と一緒に考えて行く勉強会を計画中。

広報部会

- ・ 諏訪ユネスコ通信第34号7月末発行
- ・ 諏訪ユネスコ通信への広告掲載について
 - * 本年度より団体会員が2団体になった為、広告の掲載をしたらどうかと意見が出された。
 - 三役会にて検討し理事会にて承認を得ることに決めた。

2. その他

- ・ 三役会 5月 6日(金) 17時30分
- ・ 次回理事会 5月10日(火) 18時30分

第2回理事会(135回) 2022年5月10日(火) 18時30分

報 告

- ・ 5月8日(日) 10時30分 長野県ユネスコ協会連絡協議会
- 場 所:「ゆいわーく茅野」
- 出席者:長野ユネスコ協会(2名) 飯田ユネスコ協会(1名)
木曾ユネスコ協会(2名) 松本ユネスコ協会(2名)
諏訪ユネスコ協会(3名)

議 題

- (1)「2022年度中部東ブロックユネスコ活動研究大会in飯田」について
 - ・ 飯田ユネスコ協会より実施計画の発表
 - 日時:2022年度11月19日(土) 13時~15時45分
 - 開催方法:オンライン
 - 研究テーマ:ESD推進のために、学校・地域・ユネスコ協会はどのような連携をとったらよいか
 - 基調講演:元県生涯学習センター所長 木下臣一氏
- (2)「長野県ユネスコ協会連絡協議会」これまでの出納状況について
 - ・ 長野県ユネスコ協会連絡協議会事務局より報告
- (3)今後の「長野県ユネスコ協会連絡協議会」の役員体制について
 - ・ 各ユネスコ協会で行ったらよいのではないかとの意見
 - ・ 「長野県ユネスコ協会連絡協議会」を再度開催し決定する
- (4)その他
 - ・ 本年度を以って長野ユネスコ協会・上田ユネスコ協会が解散
 - ・ 本年度は「長野県ユネスコ協会連絡協議会」の役員は長野ユネスコ協会が担当する

議 事

1. 各部からの報告・連絡

本部会

- (1)総会について
 - ・ 式次第・役割分担・準備品の確認
 - * 飾り花は松下理事が準備
 - * 理事の集合は14時30分(ユネスコ幕・机の配置準備)

地域遺産部会

- ・新年度の計画…部会を開催し意見を出し合って決める

寺子屋部会

- ・8月頃に部会を開く計画
- ・配布するチラシの検討を行う

ユネスコスクール推進部会

- ・国際理解ではマレーシア人の方と座談会を予定（詳細は後日決定）

広報部会

- ・諏訪ユネスコ通信第34号、7月末日発行
*会長より団体会員の企業広告を検討してほしいとの要望があった。

2. その他

- ・三役会 6月 7日(火) 17時30分
- ・次回理事会 6月13日(月) 18時30分

第3回理事会(136回) 6月13日(月) 18時30分

報 告

- ・諏訪湖アダプトプログラム開催通知発送
- ・6月25日(土) 14時30分～16時30分 日本ユネスコ協会連盟総会
諏訪ユネスコ協会は委任状提出
- ・県立図書館より「諏訪ユネスコ協会10周年記念誌」寄贈の依頼があり
3冊送付済み
- ・6市町村教職員録の購入：1,500円
- ・ユネスコ協会便6月号

議 事

1. 各部からの報告・連絡

本部会

(1) 定時総会の反省

- ・コロナ禍での少人数の定時総会ではあったが良かった
- ・株式会社みやま 代表取締役社長 百瀬真希氏による講演会はSDGsに関する講演で、とても良かった
- ・林新一郎顧問にも出席いただき、挨拶を頂くことができ良かった

(2) 会員の動向

- ・環境問題推進部会の部会長である濱三千治理事が、体調不良による退会の申し出があり承認された
- ・会員、数名の退会希望者がおり新規加入者の呼びかけを行う

(3) 6市町村教育委員会担当者会 …三役出席

日 時：6月28日(火) 10時～11時

場 所：下諏訪町総合文化センター 2階 講習室

(4) 「みどりの絵コンクール」・「プロジェクト未来遺産2022」の募集について

- ・夏休みの課題として各学校に依頼する

(5) 会費納入状況…数名の未納者がいる為、直接集金できる方には依頼し、他は再度振り込み用紙を送付する

地域遺産部会

- ・本年度は部会を開き「楽しくできるユネスコ」を目指す
- ・講演会も含め部会員の幅広い意見をリサーチし検討していきたい

寺子屋部会

(1) これからの予定

- ・7月 5日(火) 13時～ 寺子屋部会 (諏訪市部員)
場所：諏訪市「いきいき元気館」
- ・8月30日(火) 15時～ 寺子屋部会 (全体会)
場所：諏訪市「いきいき元気館」

①地区責任者・学校責任者の確認

②年間計画・回収箱の確認

*本年度の活動は例年より早く始める事とした。

*高校への依頼はどうするか。農協関係の担当者を検討する。

*6市町村担当者不在の所はどのように補っていくか検討する。

環境問題推進部会

- ・第1回アダプトプログラム：6月 9日(木) 9時より実施
*今回から高島基金より購入した長めのトングを使用した。
- ・第2回アダプトプログラム：7月 6日(水) 9時より実施
- ・第3回アダプトプログラム：9月13日(火) 9時より実施

ユネスコスクール推進部会

(1) 地域在住外国籍の方との交流会

日 時：7月19日(火) 14時～16時

場 所：「ゆいわーく茅野」集会室1・2

ゲスト：ヨギさん(インド系マレーシア人) 主婦

参加者：理事のみ 謝礼：5,000円

広報部会

- ・諏訪ユネスコ通信第34号発行 2022年7月末日発行
- ・編集委員会3回開催
6月21日(火)・7月12日(火)・7月26日(火)

2. その他

- ・三役会 7月 4日(月) 17時30分
- ・次回理事会 7月12日(火) 18時30分

第4回理事会(137回) 7月12日(火) 18時30分

報 告

- ・6月25日(土) 2時30分～4時30分 日本ユネスコ協会連盟総会
諏訪ユネスコ協会は委任状を提出
- ・6月28日(火) 10時～10時45分 6市町村教育委員会担当者会

議 事

1. 各部からの報告・連絡

本部会

(1) 年会費の納入状況

- ・未納者数名…集金に行ける方は願います。他、振り込み用紙送付

(2) 会員の動向

ご逝去：濱三千治氏7月7日に逝去 7月10日葬儀（近親者のみ）

＊7月9日 自宅へ弔問（会長・事務局長）

退会者：朝倉清氏・小林民江氏

会員数：一般会員 47名・団体会員 2名 合計49名

地域遺産部会

(1) 今後の予定

- ・地域遺産部員の会合を持ちたい（コロナ第7波が来ている為、国の動向を見て検討する）

寺子屋部会

(1) 諏訪市「いきいき元気館」使用について

- ・6月14日(火) 使用申請許可の受理

登録名：諏訪ユネスコ協会 使用責任者：松下敦子

交流広場：300人収容可能 会議室2室

(2) 諏訪市 寺子屋部員による部会開催報告

- ・7月5日(火) 13時 場所：「いきいき元気館」

＊地区責任者の確定。

＊各学校担当者を決めた。

＊各学校に配布するチラシの枚数を無駄のないよう作成する。

＊その他、忌憚のない意見を聞くことが出来た。

(3) 今後の予定

- ・8月30日(火) 15時 第1回寺子屋部会

場所：「いきいき元気館」3階 第1会議室

環境問題推進部会

- ・7月6日(木) 9時 第2回諏訪湖アダプトプログラム 実施

ユネスコスクール推進部会

- ・地域の外国籍の方との交流会

日 時：7月19日(火) 13時30分～15時30分

場 所：「ゆいわーく茅野」集会室1・2

ゲスト：ヨギさん（インド系マレーシア人）

参加者：理事のみ 謝礼5,000円

内 容：フリートーク（なるべく日本語でお願いします）

自国の歌を歌っていただけたらとの意見が出された。

広報部会

- ・7月12日(火) 15時 第2回編集委員会

- ・7月26日(火) 16時 第3回編集委員会

- ・7月31日(日) 諏訪ユネスコ通信34号発行

2. その他

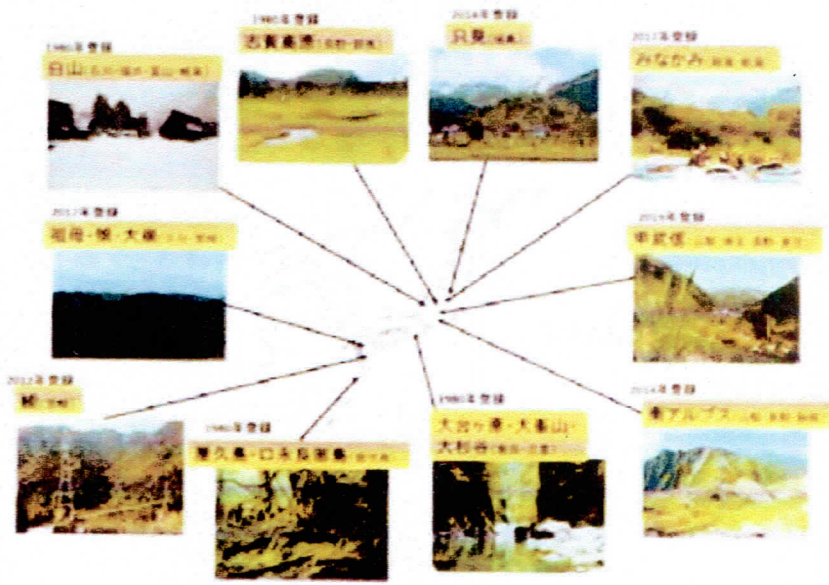
- ・三役会 8月12日(金) 17時30分

- ・次回理事会 8月18日(木) 18時30分

5月26日 今年度事業計画が採択されました

「ユネスコエコパークを核とした ESD/SDGs 実践カリキュラム開発支援と国際交流の促進」が令和4年度ユネスコ活動費補助金：SDGs 達成の担い手育成(ESD)推進事業に採択されました。その目的は以下のようです。

生態系の保全と持続可能な利活用の調和を目的としたユネスコエコパーク(BR)は、SDGs 達成のモデル地域であり、持続可能な開発について学ぶ場として位置づけられています。山ノ内町ほか、国内BRのユネスコスクールではSDGsを意識したESD実践事例が蓄積されつつあります。本事業ではその資産を活かし、ESD/SDGsの深化とユネスコスクールの国際交流の促進に取り組みます。これまでのユネスコスクールでの活動により、BRを活用したESD/SDGsは普



及しつつあり、いくつかのBRでは深化を目指す段階にあります。また信州ESDコンソーシアムの成果発表交流会など、BR間の交流機会の創出により、BRを活用したESD/SDGs事例の収集・発信も可能になってきました。本事業ではこれらの資産をさらに発展させ、教師がみずから地域や学校の特色を生かしたESD/SDGsの学びを構想し、実践することを支援するため、教育実践に向けてのカリキュラム開発の参考となる資料の作成と発信を目指します。またESD/SDGs実践事例の国際的な発信や、信州大学のグローバル教育と連携した国際共修プログラムの開発によりBRで学ぶユネスコスクールの国際交流力の向上を図り、海外との学校間交流の実現を目指します。具体的には、

- ア 成果発表&交流会の発表を元にESD/SDGs実践事例の紹介冊子の作成
 - イ エコパークを活用したカリキュラム開発資料の作成
 - ウ エコパークを活用したESD/SDGs実践事例の海外への発信
 - エ 留学生などへのエコパークを活用した国際共修プログラムの構築
 - オ 海外のユネスコスクールなどとの国際的な学校間交流の実現
- などで、これらの事業計画は、8月の総会にて詳細が協議されます。

※ユネスコエコパークとは：豊かな生態系を有し、地域の自然資源を活用した持続可能な経済活動を進めるモデル地域です。世界での認定地域は131か国727地域、日本には10地域あり、長野県には志賀高原、南アルプス、甲武信の3地域があります。

諏訪ユネスコ協会協力企業

美しい信州の酒

酒の王 **神渡**
みわたり

プラスチック射出成形



株式会社 みやま

〒391-0001
長野県茅野市ちの 176-5